

京楽座

作 井上ひさし
出演 中西和久
演出 ふじたあさや

不忠臣蔵

より

酒寄作右衛門

ひと足先に冥府^{あのよ}にまいつておる。
かならずこの安兵衛を訪ねてくるのだぞ。よいな！



ふじたあさや×中西和久
アフタートークあり

2026年5月16日(土) 14:00 開演 ◆13:30開場

会場: 茨木クリエイティブセンター・センターホール

一般 3,000円 / 65歳以上、障害者割引 (介助者含む) 2,500円 / U25 1,000円

主催: 公益財団法人茨木市文化振興財団 後援: 茨木商工会議所 / 茨木市観光協会 制作: 京楽座



不忠臣蔵

酒寄作右衛門

より

井上ひさしの一人称小説『不忠臣蔵』(第20回吉川英治文学賞受賞)を、ふじたあさやの卓抜な演出によって劇化した話題の舞台。またその二人によって俳優として開花した中西和久の、師匠小沢昭一譲りの「語り芸」は、わが国の芸能の奥深さを堪能させてくれる。説経節シリーズ『しのだづま考』(文化庁芸術祭受賞)『山椒大夫考』『をぐり考』に続くふじた・中西による珠玉のひとり芝居。

もう一人の〈反〉『忠臣蔵』作家 —ふじたあさや—

『忠臣蔵』が書かれたのは赤穂浪士の討入りから45年後である。その77年後、鶴屋南北は、赤穂事件の裏話として『東海道四谷怪談』を書いて、『忠臣蔵』をパロディ化した。さらにその155年後、『忠臣蔵』に異をとるもう一人の作家が登場する。井上ひさしである。劇作家でありながら、南北に敬意を表してか、井上はこれを連作小説で書いた。

ここには忠臣になれなかった不忠臣、忠臣を装って生きる不忠臣、忠臣との関りを売り物にしている不忠臣など、さまざまな不忠臣が出てくる。その数19人。表と裏のある人物ばかりである。こういう人物を描かせると、劇作家は血が騒ぐ。小説として書いていながら、本音かと思えば建前、建前かと思えば本音といった体の言葉が飛び交って、読者を迷路に誘い込むという、堂々たる〈劇〉になってしまった。そういう言葉をみると、今度は俳優の血が騒ぐ。唾をつけたのが小沢昭一氏である。その『酒寄作右衛門』を朗読したが、舞台化までは果たせなかった。弟子の中西和久がその志をついで、舞台化に踏み切ったのである。初演は2018年12月、吉良邸に隣接した回向院境内に出来たシアターX(カ)。

井上ひさしと私は、ともに昭和9年生まれ。忠臣であることを強制され軍国少年として育てられた我々にとって、〈不忠臣〉にこだわることの重さは尋常ではない。彼のその遺志を、演出家として繋いでいきたい。

中山千夏(作家)

私が中西ファンなのは…演技の研鑽ぶりをたっぷり味わえる彼の芝居が楽しいからだ。観るたびに、その裏に積まれた長時間のさまざまな修行を垣間見て満足する。

この芝居にも新はラジオのDJから旧は講談、落語までその修行の成果がぎっしり詰まっている。だから、客席のみなさまには井上ひさし流のめくるめく筋だけでなく、中西の演技、ワザをこそ、ぜひ堪能いただきたい。

出演:中西和久 作:井上ひさし 演出:ふじたあさや

音楽:高橋明邦 照明:田島康 音響:鈴木茂 謡曲指導:津村禮次郎

講談指導:神田松鯉 所作指導:古澤侑峯 茶道指導:三苦宗清

中西 和久 [なかにし かづひさ]

俳優・演出家・日本朗読文化協会理事・京楽座主宰

小沢昭一氏に師事し劇団「芸能座」「しゃぼん玉座」で俳優修業。初舞台は1977年『浅草キヨシ伝』(作・井上ひさし/演出・小沢昭一)の川端康成役。『しのだづま考』(作・演出/ふじたあさや)の演技で1991年度文化庁芸術祭受賞。同作品で新国立劇場開場記念賛助公演をつとめる。国際交流基金主催公演として韓国主要都市を巡演、東欧2カ国、ロシアの国際演劇祭に招聘参加。2008年エカテリンブルグ国際演劇祭特別受賞。福岡県文化賞、春日市民文化賞、松本市民劇場最優秀俳優賞等受賞。テレビ/NHK「心はものに狂わねど〜中西和久説経節ひとり芝居」ほか。東京・大阪・福岡で朗読教室を開講中。2019年「茨木朗読劇プロジェクト『川端康成の青春』」を構成・演出。2022年、2025年『川端康成のこころを詠むいばら朗読コンクール』をプロデュース・本選審査員をつとめる。



2026年5月16日(土) 14:00開演 (13:30開場)

茨木市市民総合センター (クリエイティブセンター) センターホール

一般 3,000円 / 65歳以上、障害者及びその介助者 2,500円 / U25 (25歳以下) 1,000円

※就学前のお子様はご遠慮ください

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き

2026年1月6日(火) 10:00~予約開始 全席指定

※発売初日はweb・電話予約のみ、1回につき6枚まで ※チケットの引取、窓口販売は発売翌日から

チケットのお申込み・お問合せ

◆茨木市文化振興財団・文化事業係 (【電話】【窓口】共に10:00~17:00)

【電話】072-625-3055 【web】www.ibabun.jp

【窓口】財団チケットカウンター (クリエイティブセンター1階)

【コンビニ】ファミリーマート ※ファミポートで直接購入可 ※要手数料

■予約チケットの振込・郵送について(振込手数料はご負担願います)

予約後5日以内に郵便局備え付けの「払込取扱票」でチケット代+手数料をお支払いください ※入金確認後発送

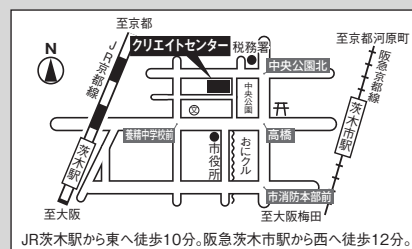
払込先:(払込口座)00970-7-190576 (加入者名)茨木市文化振興財団 ※用紙の通信欄に公演名・枚数をご記載ください

◆その他のプレイガイド

○ローソンチケット (Lコード55055) https://l-tike.com/ ※ローソン、ミニストップ各店舗で購入可



鑑賞にご不安な方は
なんでもご相談ください
介助犬の同伴、車椅子のまま
ご覧いただく観覧スペースなど



クリエイティブセンター (茨木市市民総合センター)
大阪府茨木市駅前四丁目6番16号 ibabun 検索
072-624-1726